



## 【校訓】 健康 誠実 協力

自分も周りの人も大切に、笑顔あふれる龍田小学校をつくろう ~人と言葉と命を大切に~  
今日の全校朝会では、以下のように「日本語好きだ検」の暗唱への取組についてお話ししました。

みんなが笑顔になるために、今年の龍田小も、人と言葉と命を大切にします。正しい言葉とはどんなものがあるのでしょうか？「おはようございます・ごめんなさい・ありがとう・お先にどうぞ・こっちにおいでよ」などたくさんあります。これらの言葉は「ふわふわ言葉」といいます。人から言われるとうれしく、言っている自分もうれしくなります。そうした「正しい言葉づかい」は、「今できなくても、いつかできるようになる、そのうちできるようになる」のでしょうか？いいえ、そうではありません。自然と「おはようございます」「ありがとう」と言えるようになるには、「くりかえし」が大事です。



今年も、龍田小では、名文の暗唱に取り組みます。人の記憶力は、0～3歳をピークに、7～8歳ごろまでが最も伸びるといわれます。つまり、今が脳を育てるチャンスなのです。今の時期に、繰り返し気持ちの良い刺激を受けると脳が育ちます。今、名文や詩・俳句・論語を覚えるチャンスであり、繰り返すことで自然と自分の中に入ってくるのです。美しい響きとリズムを繰り返し言うことで脳が育ち、発達します。

正しい言葉・美しい言葉を使うとどんないいことがあるのでしょうか？逆に、「だるい・うざい・別に」等の言葉を聞いたら、周りはどんな気持ちになるのでしょうか？あまりいい気持にはなりませんね。でも、自分の中に美しい言葉があり、自由にあやつれる言葉がたくさんあるとどうでしょう。まず、自分の気持ちを表現できずにイライラして



けんかになることが減ってきます。自分の思いを表現することができればトラブルがあっても、お互いの話し合いで解決することができます。また、いいコミュニケーションを取ることもできます。龍田小のみなさんが、毎日の積み重ねで正しい言葉・美しい言葉をたくさん使えるようになり、一段と素敵な学校になるようがんばりましょう。

なお、暗唱の説明については、次面に載せています。よろしくお願いいたします。

「名文・詩並びに俳句・短歌」の暗唱に取り組み、日本語力を高めよう！



今年も、「語彙を増やすこと」「表現力を高めること」「はっきりした声で伝えること」「日本語の響きの良さを実感させること」を目指して、「名文・詩並びに俳句・短歌」の暗唱に、全学年で取り組みます。(次のような流れで行います。)

① 全児童に冊子を配ります。

2～6年生は、5月の連休明けから取り組みます。1年生は、まだよく読めないと思いますので、ひらがなの練習の様子を見ながらスタートします。よろしければご家庭と一緒に読んでいただくとありがたいです。その際は、

- ・すぐに結果を求めない
- ・無理強いせず、一緒に楽しむ
- ・ほめて伸ばす
- ・少しずつでも繰り返す 等に気を付けてくださるとありがたいです。

② 暗唱に取り組み、覚えた児童は校長室に行きます。校長に冊子を渡して、暗唱をします。(2時間目の休みと昼休みは校長室で、1・3時間目の短い休み時間は校長が各学年にお出かけして暗唱を聞きます。)

きちんと暗唱できたら校長が合格の印を押し、校長室の名簿に自分で丸を付けます。

※競争にしたくないので、1日に1合格までです。

③ 全作品(各学年20編)を暗唱できたら、校長が「日本語好きだ検 認定証」を贈ります。

④ 昼休みは、暗唱と並行で百人一首もしています。興味がある人は、校長室まで来てくださいね。

